



○ 草の根パートナー型

平成21年度第一次補正予算による草の根技術協力事業 緊急経済危機対応-包括型採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	フィリピン
2. 事業名	ベンゲット安全野菜栽培技術普及プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ベンゲット州は山岳部条件不利地域に、高原野菜栽培が行なわれているが、狭小な傾斜地であるため、連作により土壌が著しく疲弊して生産性が低下し、農薬の大量散布で残留農薬が高まっている。この土壌を活性化して生産性を高め、農薬残留の少ない安全な野菜を供給することが喫緊の課題である。先行プロジェクト（環境保全型野菜生産による所得向上パイロット事業）によりラ・トリニダット町で土づくり・安全野菜栽培（SAVERS）技術が開発実証されたので、これをベンゲット州全域に普及する体制を整備し、野菜栽培の発展に貢献する必要がある。
4. 事業の目的	ベンゲット州の野菜栽培農家及び農業指導者がSAVERS技術を身につける
5. 対象地域	フィリピン国ベンゲット州
6. 受益者層	野菜栽培農家及び農業指導者
7. 活動及び期待される成果	1. SAVERS推進体制の整備 成果：ベンゲット州及び各町においてSAVERS推進体制が整備される 2. ベンゲット州内各町でSAVERSを推進、実践 成果：ベンゲット州内各町でSAVERSが推進され実践される 3. ラ・トリニダットをSAVERS普及モデル地域として機能強化する 成果：先行プロジェクト実施地域（ラ・トリニダット）がベンゲット州におけるSAVERS普及モデル地域になる
8. 実施期間	2010年1月～2012年3月（2年3ヵ月）
9. 事業費	45,338千円
10. 事業の実施体制	国際農業者交流協会が、フィリピンの地方自治体たるベンゲット州をカウンターパート機関として、プロジェクトを実施する。ベンゲット州内の13町を対象地域とし、町（自治体）当局と協力して野菜栽培農家の技術指導を実施する。農業省コーディネリア地域事務局、国立ベンゲット大学、フィリピン帰国研修者協議会、NPO法人八ヶ岳環境保全型農業国際研修協会の協力を得る。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	社団法人国際農業者交流協会
2. 活動内容	1. 農業研修生をアメリカ及びヨーロッパへ派遣（約14,000人） 2. 農業研修生をアジア諸国より受入れ（約1,400人） 3. 国際的シンポジウムの開催、海外への調査団派遣等を実施